

## 県医師会理事就任のご挨拶



常任理事 大山 朝賢

「地域に根ざした活力ある医師会」を理念として活躍中の宮城信雄会長は二期目にはいられた。この期に再度県医師会理事に就任いたしますことは大変光栄に存じております。ご推挙・承認して頂いた代議員の皆様や関係各位に感謝申し上げます。

先の知事選挙では宮城会長が後援会長になられ仲井真知事の誕生では快勝し、玉城信光県医師会副会長が県政策参与になられたあたりから、直接関係はないと思いますが、私自身の身辺もなにかと忙しくなってきました。これまで地域保健を担当して参りましたが、今年4月から始まりました特定健康診査（特定健診）や特定保健指導実施に当たっての集合契約の交渉では、老体の体力と知力の限界を思い知らされました。幸にも優秀な今山裕康理事（医療保険担当理事、地域保健副担当理事）が敏腕をふるい、事務局の真摯な協力のおかげでなんとか難局をのりきれたと思っています。ちなみに契約された平成20年、単年度の特定健診・特定保健指導の単価を表で提示いたします（表1）。ご存知とおもいますが、特定健診は基本的な健診

の項目と詳細な健診の項目とに分かれ、他府県にくらべ基本的健診項目は多くなっています（表2）。

表2 ○必須項目 ■いずれかの項目の実施でも可

		特定健康審査項目	国	沖縄県	
必須項目	診察	質問（問診）	○	○	
		計測	身長	○	○
			体重	○	○
			肥満度（標準体重）	○	○
			腹囲	○	○
		理学的所見（身体診察）	○	○	
		血圧	○	○	
	脂質	中性脂肪	○	○	
		HDL - コレステロール	○	○	
		LDL - コレステロール	○	○	
	肝機能	AST (GOT)	○	○	
		ALT (GPT)	○	○	
		γ-GT (γ-GTP)	○	○	
	代謝系	空腹時血糖	■	○	
		尿糖 半定量	○	○	
ヘモグロビン A1c		■	○		
尿酸			○		
尿	尿糖 半定量	○	○		
	潜血				
腎機能	血清クレアチニン		○		

表1 特定健診・特定保健指導の単価について

	市町村国保		被用者保険（被扶養者）	
	個別健診	集団健診	個別健診	集団健診
特定健診	6,050円	5,000円	6,050円	5,000円
詳細健診	貧血検査	500円	700円	700円
	心電図	1,300円	1,500円	1,500円
	眼底検査	1,200円	600円	1,200円
特定保健指導	集合契約なし		動機付け支援	16,800円
			積極的支援	38,800円

※1 市町村国保、被用者保険者における健診項目は同内容となっております。

沖縄県医師会報4月号でご存知のように、すごいポテンシャルエネルギーを持ったすばらし方々が交代の新理事として登場してまいります。退任された方々もエネルギーの塊りのようなパワーを有していましたが、村田謙二前県医師会理事（県公務員）が退任の弁で、「医師会



## 沖縄県医師会理事就任にあたって



理事 野原 薫

去った2月21日の沖縄県医師会臨時代議員会で、理事に再選されました。南部地区医師会永山孝前会長の推薦で、今回で4期目となります。微力ながら診療所、小児科医の立場から県医師会活動に尽力するつもりですので、会員の皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

これまで、主に学校保健と広報を担当してきました。学校保健では学校医が活動しやすい環境づくりを目指してきたつもりですが、養護教諭、校長と学校医との認識の違いが大きく、未だに学校医の立場をなかなか理解してもらえないのが現状です。また、最近の学校保健における健康課題も生活習慣の乱れ、いじめなどのメンタルヘルス、発達障害児への対応、アレルギー性疾患の増加などへと変化してきており、これらの課題に対応していかなければならないと思います。また、広報委員としては多くの会員に必要な医療情報の提供を目指しておりましたが、なかなか容易ではありません。医師会活動には多くの会員のご意見が必要だと思ひますの

で、ぜひお聞かせ下さい。

平成20年度診療報酬改定はプラス0.38%、診療所再診料の引き下げはなくなりましたが、外来管理加算の見直しがあり、内科系診療所にとっては実質的に大幅なマイナス改定となると思います。5分以上を目安とした診療、更にその要点的カルテ記載義務によって萎縮診療となるのは火を見るよりも明らかです。1時間に最大12人の患者しか診察できなくなりますので、インフルエンザ流行期などには診療所から患者が溢れ、病院を受診するようになり、勤務医が更に忙しくなるのではないかと危惧しています。これらの診療報酬の問題、看護師の内診問題、診療関連死・死因究明制度等の問題などを、法律そのものはそのままにして、運用面から何とかする姑息的な方法でのみ対応している現状のままでは、医療崩壊は間近に迫っています。自信と誇りが持てる医療を目指して頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。